

旧国有土地境界確定申請書

年 月 日

旧国有土地管理者

南丹市長

様

(申請者)

住 所

氏 名 (法人名)

Ⓔ

(代表者氏名

Ⓔ)

(事務取扱者)

住 所

氏 名 (法人名)

Ⓔ

(代表者氏名

Ⓔ)

担当者氏名

電話番号

FAX番号

私所有の土地と旧国有土地との境界が不明のため、確定されるよう関係書類を添えて申請します。

旧国有土地の所在	南丹市 町 番地先
旧国有土地の種類	道路敷・水路敷・泥揚敷・その他 ()
申 請 の 目 的	登記申請・用途廃止・占用許可申請・開発行為・その他 ()
添 付 書 類	(1) 印鑑登録証明書 (申請者に係るもの) (2) 位置図 (縮尺 1/500~1/2,500) (3) 地図又は地図に準ずる図面 (公図) の写し (登記官が内容を証明したもの) (4) 現況平面図 (1/250、1/300、1/500 のいずれか) (5) 横断面図 (1/50、1/100 のいずれか) (6) 隣接土地所有者の調書 (様式第 2 号) (7) 全部事項証明書 (8) その他参考となる書類 (地積測量図等)

※ 実務取扱者は、書類作成、連絡調整等を担当される方について記入願います。

※ 印鑑登録証明書は、写しを同時に添付すれば、原本を還付することができます。

※ 申請書の作成については、裏面をよくお読みください。

【記載要領】

- ① 旧国有土地境界確定申請書(様式第1-2号)
 - (1) 申請書には、申請地所有者の実印を押印してください。
 - (2) 申請地所有者が代理人を指定するときは、「委任状」を添付し、委任状に実印を押印してください。
 - (3) 申請者の印鑑登録証明書を添付してください。(発行後3箇月以内のもの)
- ② 位置図:申請地を黄色で着色し、申請箇所を朱線
 - (1) 縮尺1/500から1/2,500程度で、方位、周辺の建物、地形が記入されたもの。
- ③ 地図又は地図に準ずる図面(公図):申請地を黄色で着色し、申請箇所を朱線
 - (1) 不動産登記法(平成16年法律第123号)に規定する地図又は地図に準ずる図面(公図)の全部又は一部の写し(登記官が内容を証明した書面)を交付申請したもの又はその写し。
 - (2) 上記(1)の図面の複写を用いて道路、水路等は、旧公図を閲覧して必ずそのとおりに着色してください。
 - (3) 申請地が字界付近に位置していること等により、申請地と申請地に隣接する土地との位置関係が、複数の地図又は地図に準ずる図面(公図)によらねば把握できない場合は、それぞれの地図又は地図に準ずる図面(公図)及びそれらを接合した合成図を作成してください。
 - (4) 上記(3)の合成図に作成年月日を記載し、作成者の記名押印をしてください。
- ④ 現況平面図:縮尺1/250、1/300、1/500
 - (1) 現地の形状が明確に把握できるよう周辺部も含め道路、水路、河川、側溝、垣根、家屋等の地形地物を明記してください。なお、図面の大きさはA2以内とし、測量年月日、図面作成年月日、測量者(作成者)の資格・肩書、記名押印してください。
 - (2) 方位、縮尺、横断面図の位置、隣接土地所有者の調書へ記載が必要な範囲の土地の地番及び土地所有者名(共有の場合は共有者全員)を記載してください。
 - (3) 境界確定申請線は朱線で表示し、「境界確定申請線」である旨記載してください。なお、境界確定申請線は申請者が主張する境界線とする。
 - (4) 境界確定済線は緑色で表示し、「境界確定済線」である旨記載してください。
- ⑤ 横断面図:1/50、1/100
 - (1) 現況平面図作成の(1)、(3)、(4)に準じて作成してください。
 - (2) 横断面図の作成箇所は原則として、1筆の申請地に係る境界確定申請線の起終点付近の2箇所とする。ただし、市有地が旧国有土地の場合で、1筆の申請地に対し対側地が2筆以上あるときは、その対側地付近も作成してください、また、横断位置間の距離が20mを超える場合は、20mを超えない複数箇所とする。
- ⑥ 隣接土地所有者の調書(様式第2号)
 - (1) 申請地を記載した欄全部を黄色で着色してください。
- ⑦ 全部事項証明書:発行後1箇月以内のもの
 - (1) 土地所有者の住所が現住所と異なる場合は、住民票、戸籍の附標、住居表示変更証明、商業登記簿謄本等で住所の沿革がわかる資料を添付してください。
 - (2) 登記名義人が死亡し、相続登記の手続がなされていない場合は、相続関係を示す書類とともに説明図を作成し、作成者氏名を記入し押印してください。
- ⑧ その他参考となる書類:地積測量図、土地実測図、古図等
 - (1) 地積測量図、土地実測図、古図等の参考となる書類
 - (2) その他、特に市長が必要と認めた書類
- ⑨ 提出部数は、正1部及び副(写し)1部を提出してください。

委任状

旧国有土地管理者

南丹市長

様

私は、_____を代理人と定め下記の権限を委任します。

記

- 1 旧国有土地と私所有の土地の境界確定申請書を提出すること、又は取り下げること。
- 2 上記境界確定申請に伴う現場協議に立会して図書を作成すること。
- 3 境界確定図奥書証明書交付の申請を行い、これを受領すること。
- 4 その他上記境界確定申請に係る協議に関すること。

年 月 日

申請土地所有者

住所

氏名（法人名）

（代表者氏名）

実印

実印）

年 月 日

旧国有土地管理者

南丹市長

様

住 所

(申請者)

氏 名 (法人名)

実印

(代表者氏名

実印)

連絡先

旧国有土地境界確定図奥書証明申請書

下記のとおり旧国有土地境界確定図の奥書証明を申請します。

記

1. 確定番号及び確定日

昭和・平成 年 月 日 第 一 号

2. 証 明 申 請 箇 所

京都府南丹市 町 番地先

3. 旧国有土地の種類

道路敷 ・ 水路敷 ・ 泥揚敷 ・ その他 ()

4. 証 明 部 数

部

5. 利 用 目 的

登記申請・用途廃止・占用許可申請・開発行為・その他 ()

6. 提 出 先

◆ 添付書類

- ①申請者の印鑑登録証明書 (写しを同時に添付すれば、原本を還付)
- ②法務局備え付けの地図又は地図に準ずる図面 (申請箇所を朱書きしてください)
- ③全部事項証明書 (提出 1 箇月以内のもの)
- ④代理人による申請の場合は、土地所有者の委任状 (裏面に記入)

※証明部数 1 部につき 3 0 0 円徴する。

委 任 状

私は、
を代理人と定め、私所有の下記土地先の境界確定図の奥書証明に
係る次の権限を委任します。

- (1) 境界確定図の奥書証明申請をすること。
- (2) 境界確定図奥書証明書を受領すること。

記

京都府南丹市

番地先

年 月 日

住 所

氏 名 (法人名)

実印

(代表者氏名

実印)

連絡先 電 話 番

FAX番号